



# Smart



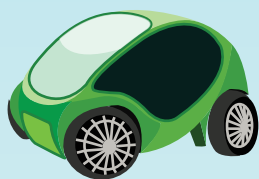
日本企業のR&Dハブinアジア

A **SmtCty** PROJECT

インド・ハイデラバード市



省エネ・省資源



低炭素



統合ネットワーク



ライフ・クオリティ

# 日本企業が国際競争を勝ち抜くためには多様な人材が必要



多様性  
知的  
資本



臨機応変  
マーケットに  
素早い反応



優れた製品  
より高い  
利益



イノベーションだけでは成功するのに十分ではない。マーケットの需要に適合する速度も重要です。日本企業は基礎的イノベーションによって知られていますが、ローカライゼーションや市場環境の変化に迅速に適応することも必要です。これを達成するためには、グローバルな人材を活用する必要がありますが、費用対効果も考慮しなければなりません。

ハイデラバード市は、すでにソフトウェア、医薬品、航空、アニメーション、自動車産業においてグローバルなR&Dハブです。マイクロソフトはシアトル外では世界最大となる開発センターをハイデラバードに所有しています。

SmartHは日本企業が国際競争を勝ち抜くためのコラボレーション&イノベーションを目的としたスペースであり、日本人向けのソーシャルインフラを含む最新技術を用いたスマートシティです。私たちのパートナーにはインド工科大学、東京大学、そして日本とインドの民間企業も含まれます。Smart-Hはまた日本の次世代テクノロジーのモデルケースにもなるでしょう。

## 1億円できるイノベーション

	シンガポール <sup>1</sup>	マウンテンビュー <sup>1</sup> シリコンバレー	筑波 <sup>2</sup> 東京	SmartH <sup>3</sup> ハイデラバード
研究員数	4	4	6	25
オフィス面積 (m <sup>2</sup> )	80	80	120	250
基礎的イノベーション	●	●	●	●
ローカライゼーション	●	●	●	●
市場適応力	●	●	●	●
総合的なインパクト	■	■	■	■

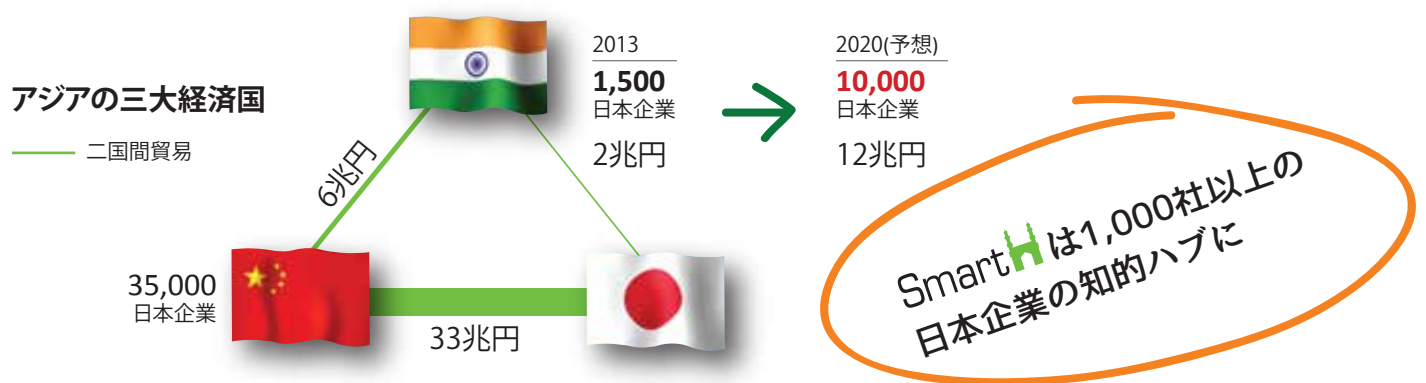
1. 平均人件費2,000万円

2. 高額な年金と雇用関係の税金、平均人件費1,500万円

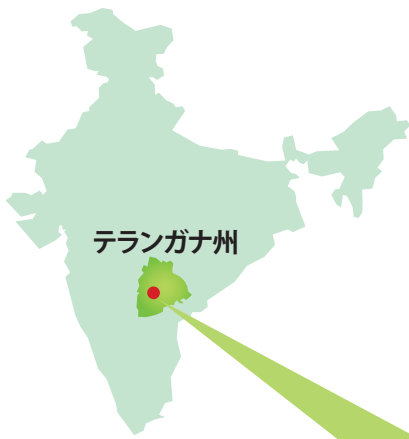
3. 平均人件費200万円

## インドにおいて日本企業は今後5年間で急速に成長

JBICとJICAはインドにおける主要なインフラ投資家。今後5年間で3.5兆円の投資が新たに合意された



# インドのベスト・アセットは人材



テランガナ州

- 毎年150万人が工学部を卒業
- アメリカで経験を積んだマネジメントチームが多数
- Smart-Hは日本語対応スタッフの雇用をサポートします
- 確かな知的財産保護システム
- 民主主義&透明性 — 100%外資による所有が可能
- 低価格かつハイスピードな通信ネットワーク
- R&D活動はインドの物理インフラに依存しない

## ハイデラバード

スマートな人と企業に最高のビジネスチャンスをもたらす都市  
日本政府はハイデラバードにおける最大級の投資家



面積51 km<sup>2</sup>  
国立製造地域 (NIMZ)

インド工科大学



(JICAからの  
長期ローン230億円)

ハイデラバード市圏  
GDP: 約10兆円  
人口: 約800万人  
海拔: 約500 m



アウター・リングロード  
(JICAからの長期ローン800億円)

フセインサーガル湖



(清掃事業のためJICA  
から長期ローン60億円)

メトロ

10 km

Smart



1591

### 豊かな歴史

- チャル(=4)ミナール(=塔)が建設された1591年にハイデラ(=ライオン)バード(=市)は設立された
- 4.4 km<sup>2</sup>の人造湖フセインサーガルは1562年雨水を溜めるため建設された
- 1960年代162万m<sup>2</sup>の国立公園KBRパークが市内につくられた



2014

### 進歩する都市

- Google、Amazon、Facebook、Microsoftがインド本社を構える — IT、製薬、インフラのハブ
- インドで最も中心部に位置する都市\*
- 海外直接投資はテランガナ州政府にとってハイ・プライオリティ

\* インドとアジアの主要都市ヘー日100以上のフライト

# Smart 日本企業のR&Dハブinアジア

CASBEEランクS認定を目指す\*



**jOne** - インド初、日本向けアメニティを備えたオフィスパークとR&Dスペース  
カスタマイズされたスペースと共有スペース、ITと設備の整ったプラグアンドプレイ・オフィス・システム



**spot** - ワンストップ・ビジネスサービス  
日印企業が提携して提供する、銀行、リクルート、税務、会計、輸出入、ライセンス申請サービスすべてに日本語対応のサービス



インドの優秀な人材とコラボレーション&イノベーション  
日印企業がスポンサーする**Idea Lab**、職種の枠を超えたスペシャル・プロジェクト・チーム



内外にワールドクラスのインフラ  
4車線のハイウェイ、空港まで10分、Smart-H付近かテランガナ内で拡張可能な土地



日本をテーマにしたソーシャルインフラ  
オンサイト・サービスアパート、ジャパン・ビレッジ・レストラン街、日本人スタッフのいる医療センター、日本人学校、アート&ゲームセンター、水族館



テランガナ州からの特別なインセンティブ  
容易な事業地取得、場合によってはVATと輸入関税の免除



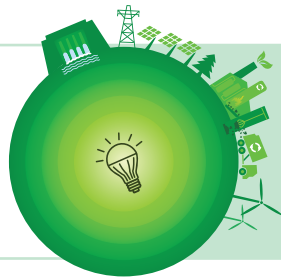
51km<sup>2</sup>の国立製造地域(NIMZ)  
魅力的なインセンティブ、Smart-Hとテランガナ州がビジネス設立を支援

\*CASBEEは日本の建築環境性能総合評価システム

## 知的でアダプティブなアーバンコミュニティ

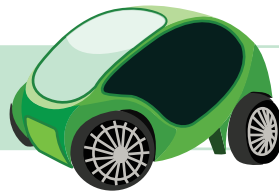
私たちの考えるもっとスマートな都市

省エネ・  
省資源



リデュース(エアコン、照明、包装)  
リユース(熱、建材)  
リサイクル(水、ゴミ)  
ピーク電力管理  
モバイルアプリでの使用状況フィードバック

代替エネルギーによる電力供給  
短時間通勤用EVと自転車



低炭素

統合  
ネットワーク



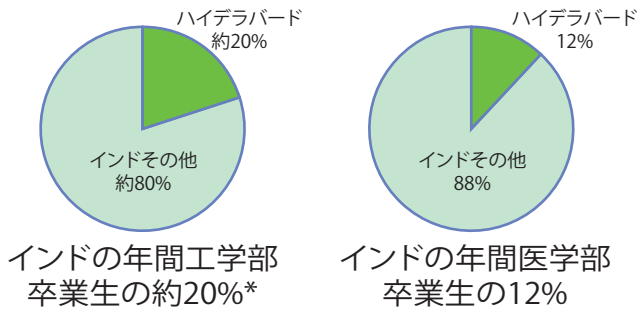
プライバシーの確立された高速インターネット  
物理的なセキュリティの中央管理  
自己学習システムとスマートセンサー  
モバイルアプリからのアクセス&コントロール

広い公共グリーンスペースと子供の遊び場  
充実した歩行者ルート  
より涼しい気候とより綺麗な空気  
安全ながらも充実した娯楽とアクティビティ



優れた  
ライフ・クオリティ

# インドの教育ハブ



\*日本全国で約12.5万人、ハイデラバードは約30万人

# なぜハイデラバードか

- インド第6の大都市、最も汚染が少なく、人口密度も低い
- 他の都市に比べより質の高いライフを提供

標高505m、トップ6都市の中で最も良い気候(バンガロールも気候は良いが、混雑している)

主要都市の中で最も低い生活コスト(コルカタ、アーメダバードも同様に低コストだが、ソーシャルインフラは不足している)

インドのベスト空港の一つ

5つの18ホールと4つの9ホールゴルフ場がある

大人、子供両方が楽しめるハイレベルのレストランとエンターテイメント

- インドの主要都市では最も中心に位置する
- インドの教育ハブ、技術教育ではトップ

約20%のエンジニアはハイデラバードの大学出身

メディカルスクールとポリテクニクではトップ3の州に入る

- 最多の経済特区と国立R&Dセンターを有する都市

約20,000ヘクタールの情報技術インベストメント地域、20以上の国立研究所

Indian Institute of Biotechnologyを含む4つのバイオ製薬研究所、米研究を含む3つの農業R&Dセンター

3つの防衛研究所、原子力研究所、Indian Institute of Chemical Technology (IICT)、National Geophysical Research Institute

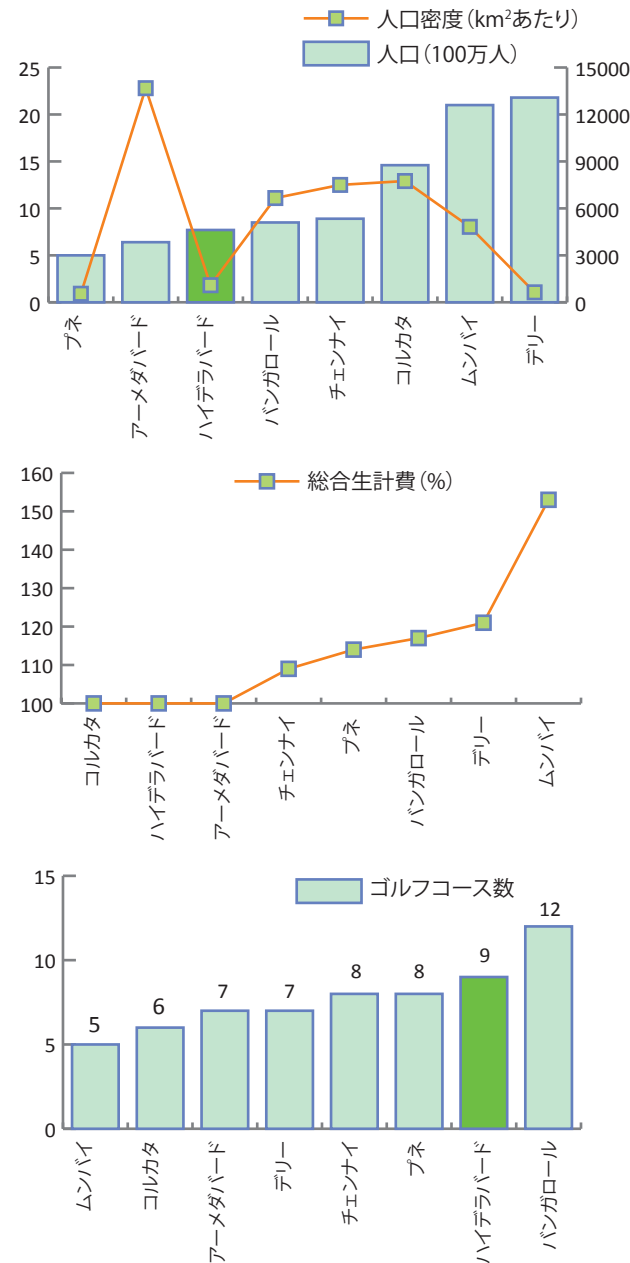
- 大手インド&グローバル企業が本社を置く

航空宇宙、アニメーション、防衛、エレクトロニクス、製薬、半導体、ソフトウェアのR&Dハブ

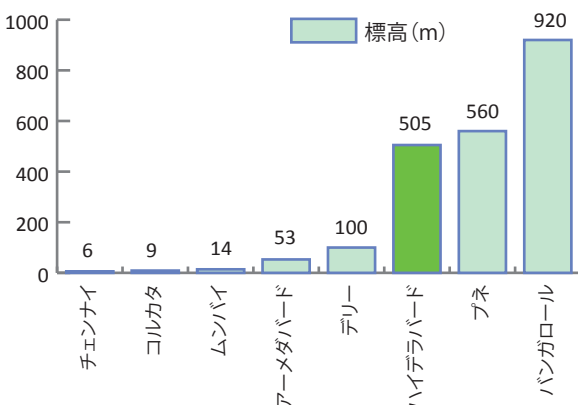
Google、Facebook、Amazon、Microsoft – インド本社

DuPont、GE、Hyundai、Honeywell、Covidien、Mylan、Dae-woong、Avevaの大規模なR&Dセンター

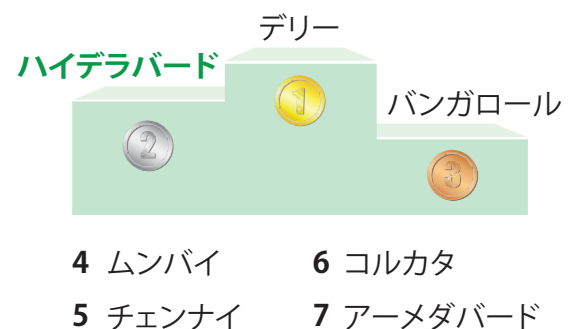
# 快適な生活環境

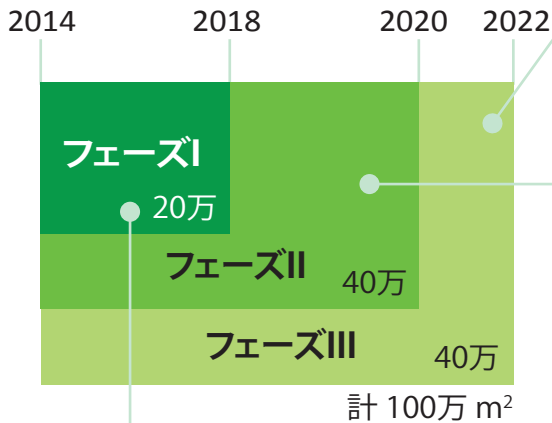


# 最良の気候とアクセス



# インドの空港ランキング





## フェーズII

2,500戸のスマートレジデンス  
日本のデベロッパーと提携

インド初の現代的な大水族館  
日本のテーマパーク・オペレーターと提携

20万 m<sup>2</sup>のアウトレット+グリーン  
クリエイティブな公共スペースとデザイナーブランド・ショップが混在、日本の投資家と提携

## フェーズIII

次世代オフィス  
企業開発センター  
レジデンス・ユニット

## フェーズI

### 今、使えるスマート・テクノロジー

太陽の自然光、エネルギー使用量を少なく  
ガラスビル、プログラムされたLEDライト、オンデマンドのモバイル・エアコン・コントロールシステム、屋上緑化、断熱ナノテクノロジー・ガラス・コーティング、エアコン使用量を25~40%削減

### リユース、リサイクル

余剰熱の再利用、再生水をガーデンに利用、オンサイトでゴミの分別とリサイクル、廃棄物は専用の発電所に輸送

### 太陽光発電

屋上太陽光発電20%、ソーラーファーム80%

### モバイルからのアクセス&コントロール

4Gスピード、街灯とビルのエントランスにセンサーを設置  
全てのSmart-Hモバイルアプリはクラウドからアクセス

### ライフスタイル

#### 500戸のサービスアパート

日本のオペレーターと提携、必要な全てのサービスを完備

#### coolj - 4万 m<sup>2</sup>のジャパン・ビレッジ

レストラン、ショップ、アニメミュージアム、日印企業の提携開発によるゲーム&トイセンター

#### 化石燃料ゼロ

駐車場は全てSmart-H外の地下に建設、内部は徒歩とEV三輪車&ミニバスのみ、空港と市内へのEVバス

#### ペイ・スマート

商品とサービスはSmart-Hイージーペイカードで支払い可能

#### 10万m<sup>2</sup>のグリーン&デッカン・ロックエリア

公園、日本のアニメの彫像、子供の遊び場エリア、日本の著名な庭園により鯉の泳ぐ池のあるティーハウスを開発

### 仕事と生活に、優秀なスペース

j●oneを含む10万 m<sup>2</sup>の商業スペース  
インド初のハイテックかつ高効率スペース

#### 500戸のスマートレジデンス・ユニット

日印のデベロッパー、建設会社、日本の家電メーカーが提携して開発、建設

#### Idea Lab

日印企業のための職種の枠を超えたテクノロジー&ノンテクノロジー・クリエイティブセンター - IIT-Hydと日本の大学がメンタリング

#### ビジネスのためのテクノロジー

オンサイトのアプリケーションサポートセンター、日印の大手IT企業がサービスを提供

### カスタマイズされたサポート

#### sp●ot - シングルポイント・サポート

日本語対応、シングルテナントごとの専用サービス、1~5名のスタッフ

#### オンサイト・医療センター

インドの大手病院チェーンが所有、運営

#### ファイナンシャル&法務サービス

日印企業が提携して提供する、銀行、リクルート、税務、会計、輸出入、ライセンス申請サービスすべてに日本語対応のサービス

#### 人材サービス

臨時&正社員 - 日本の大手リクルート会社と提携

#### インド全国でのビジネス拡大を支援

特定のテーマによるビジネス・マッチングセミナーを毎月開催、日印企業がスポンサー